

あとがき

来週オークリッジへ出発する。その前に核データニュースの編集を終わらせなければならぬが、こんな時に限ってパソコンのハードディスクがクラッシュしてしまった。ほとんど完成していた原稿が……。こんなことを何とかの法則とよぶのだろう。しかし運良く何日か前に新しいハードディスクが届いていた。クラッシュしたハードディスクを横目に、新しいハードディスクをフォーマットしはじめる。フォーマットしたハードディスクに非常用に作っておいたフロッピーディスクからシステムを写し、何とかハードディスクから起動できるようになった。さてこれからシステムの本体をインストールしようと思い、パソコンに付いてきた CD-ROM のなかにあるセットアッププログラムを起動すると、「CD-ROM セットアップ用」の起動ディスクをフロッピードライブに入れリセットするよとのメッセージだ。そのフロッピーディスクを探してみると、ラベルだけでフロッピー自身が見当たらない。途方に暮れて、こんな時はネットサーフィンで気分転換。そういえばこのパソコンの製造会社がホームページを開いていたなどと思い、覗いてみるとなんと問題の起動フロッピーの作り方が書いてあるではないか。しかも丁寧にこのフロッピーディスクを作るまでは、ハードディスクをフォーマットしないで下さいと書いてある。近くに同じ PC があり、何とか起動フロッピーをつくり、OS をインストールすることができた。だんだん OS も複雑になってきて、インストールするだけでも大変だ。特に某 95 という OS はアップグレードだの何だのとうるさい。アプリケーションソフトのインストールなどを含めパソコンの環境を整えるのにまる二日つぶれてしまったが、その後どうにか原稿を仕上げることができた。今回つくづくバックアップの大切さをあらためて痛感した。

今年の4月から新しく核データニュースの編集委員になり、これまで興味があるところだけを拾い読みしていた核データニュースを改めて読み返すと、面白い記事があちこちにあるのを再発見しました。最近インターネットだ CD-ROM だと電子媒体がはやっていますが、気軽に持ち歩ける紙媒体もなかなかいいものです（上のような悲劇も起こらないし）。核データニュースを鞆のすみに忍ばせ、電車の中でふと広げると、新しいことが見つかるかもしれませんよ。

岩本 修

iwamoto@cracker.tokai.jaeri.go.jp

核データニュース編集委員会

柴田 恵一(委員長、原研)、井頭 政之(東工大)、岩本 修(原研)、喜多尾 憲助(データ工学)、高田 弘(原研)、長谷川 明(原研)、吉田 正(武蔵工大)